



熊本都市政策

Institute of Policy Research, Kumamoto city
Annual Report 2013

熊本市都市政策研究所 年報

vol.2

熊本市都市政策研究所
Institute of Policy Research, Kumamoto city

IPRK

発刊に寄せて

熊本市都市政策研究所長 農学博士 蓑茂 壽太郎



平成 26 年度の年報である「熊本都市政策」の第 2 巻の発刊に当たりご挨拶申し上げます。熊本市都市政策研究所は、平成 25 年度においてはじめて、一年間をフルに通しての活動を経験しました。研究所の使命に掲げている三つの柱、すなわち調査研究活動、人材育成活動、情報発信活動のすべてを 4 月 1 日から 3 月末までの年度仕事として完遂したわけです。

まず研究活動においては、政令市熊本の地域認識と都市政策の時代認識を共有できることを目標として定めて研究を進めました。熊本市は明治 22 年の市制施行以来 124 年目に政令指定都市になったわけです。熊本市がこれまで歩んできた道を各種の図面、特に都市図と言われるものを「調査収集して公表できる形に整える仕事」をしました。今年の秋には、16 葉の図版でまとまった「熊本市都市形成史図集(その一)」が刊行される予定です。また、全員で取り組んだこのスタート研究とは別に、各研究員個人による調査研究もいろいろと始まりました。その成果は、研究論文、研究報告、論説等のかたちで本誌に掲載されています。この研究所は、その成果が日常の行政に役立つことを狙いとしていますので実学研究を旨としています。自然科学的アプローチ、社会科学的、人文科学と多様な方法が行政に資する研究には要求されます。一方で研究の高度化を図るため学会誌等への積極的な投稿を所員に奨励しています。そうした関係から、一部の研究成果については学会誌への投稿を優先させています。いわゆる二重投稿というルール違反を防止するためです。熊本市をフィールドとした、熊本での事例を扱った学術研究が学会誌等に登場することで、熊本市は多くの研究者の注目を集めることとなります。そのことで「新たな知」がこの都市にもたらせるというメリットが期待されます。調査分析の深度や考察の熟度などにより、研究論文、研究報告などに区別し、また総説や単報、資料等の区分も設けることで有益な成果がタイムリーに届けられるよう工夫していきます。

次に人材育成については、この一年間で講演会を 5 回開催しました。日本農業の行方、流域環境論、都市と産業、参加型まちづくり、観光まちづくりについて学ぶ機会を作りました。都市と農業は不可分です。水の都熊本は流域環境を守ることが不可欠です。政令都市での産業連関表等々。いずれも政令市として新たな道を歩む熊本市にとって有益な情報を得、これに考えを巡らす機会を提供できたものと信じます。講演会はいくまでも人材育成につながるものでなければなりませんので、常に研修効果に心がけています。市役所の全職員数に比して講演会に参加できる人は限られています。そこで研究所では完全講義録を編纂しホームページで公開するほか希望者に配布できるようにしています。なお講演会の後、希望者を募り講師の方との意見交換、歓談の機会を設けていますが、これは人材育

成で有益な人脈づくりに役立つようにとの思いからです。さらにこの講演会が定着するに従い、事前事後の研修会や勉強会が市役所職員有志で開催されるようになったことは、新しい風として大変うれしく思います。

最後に、情報の発信については、3つの手段を通じたもの、すなわちホームページ、ニューズレター、年報により行っています。ホームページは、年間のアクセス件数が8,000件程度です。ニューズレターは、1号から3号までを年度内で発刊し、1,900部配布しました。

加えて、熊本シティエフエムの番組提供を受け「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」で都合10回の情報発信をしました。その他、所員は、各種の学会へ参加することで、情報の収集に努めるとともに、熊本市都市政策研究所の存在を全国に発信しました。年度の最後には、友好都市であるハイデルベルク市長の招待を受け、3月23、24日に「ハイデルベルク知識基盤型都市づくりサミット」に参加し、私自身、熊本の都市づくりの経験などを紹介する機会を得ました。

熊本都市政策 vol.2

Institute of Policy Research, Kumamoto city Annual Report 2013

熊本市都市政策研究所 年報

目 次

I 研究論文

熊本市における公共交通と特定公共施設分布の関係分析に基づく 都市形成の考察	3
研究者 堀 満	

II 研究報告

政令指定都市「熊本」の合併の歴史的変遷と現在	19
研究者 太江田 真宏 所長 蓑茂 壽太郎	
熊本市の人口動態の分析及び福岡市との比較考察	27
副所長 植木 英貴	
熊本市の都市緑化政策の評価と課題	39
研究者 長 和史	
ソーシャル・キャピタルの今日的意義と都市政策への応用可能性	50
研究者 武村 勝寛	
地域共有財の保全活動における民間企業と行政の連携	56
—熊本地域の地下水保全事業の事例から— 研究者 渡辺 亨	
城下町・熊本の街区要素の一考察	63
研究者 久保 由美子	

III 講演記録

第3回講演会 「日本の農業の活路を探る」	71
講師 生源寺 眞一氏 (名古屋大学農学部教授)	
第4回講演会 「都市づくりと流域環境思考」	84
講師 涌井 雅之氏 (東京都市大学教授・造園家)	

第5回講演会 「地域経済の再生と構造変化」	100
講師 清水 雅彦氏 (慶応義塾常任理事・慶応義塾大学名誉教授)	
第6回講演会 「市民協働のまちづくり～ワークショップを知ろう～」	109
講師 明石 照久氏 (熊本県立大学教授)	
第7回講演会 「元気で楽しい都市に観光客はやってくる」	117
講師 小林 英俊氏 (公益財団法人日本交通公社シニア・フェロー)	

IV 平成 25 年度の活動記録

1 調査・政策研究に関する活動	129
(1) スタート研究	
(2) 研究フレーム	
(3) その他の活動	
① 「水俣条約外交会議」ウォッチング	
② 「熊本城マラソン 2014」ウォッチング	
2 情報収集・発信に関する活動	131
(1) 年報の刊行	
(2) 研究所パンフレットの作成	
(3) 研究所ホームページの充実	
(4) ニュースレターの発行	
(5) ニュースメールの配信	
(6) ラジオでの情報発信	
(7) ケーブルテレビでの情報発信	
(8) 学会等への参加	
(9) IBA (国際建築博覧会) アカデミー会議への参加	
3 人材育成に関する活動	138
(1) 講演会・研修会の開催	
(2) 登録研究員連絡会議の開催	
4 研究員活動報告	141

V 参考資料 147

1 組織	
2 平成 25 年度都市政策研究所パンフレット	
3 ニュースレター	